

明治から世界へ
一人ひとりの希望を育てる

明治大学未来サポーター募金

— 活動報告書2023 —

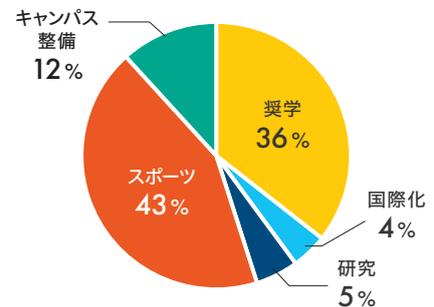
2023年4月 ▶ 2024年3月

これまでに明治大学未来サポーター募金に頂戴したご寄付の実績と、各資金における2023年度の活動結果をご報告します。皆さまからのご厚意が大学の活動にどのように活用されたか、ご覧いただければ幸いです。今後とも末永く、本学のサポーターとしてご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

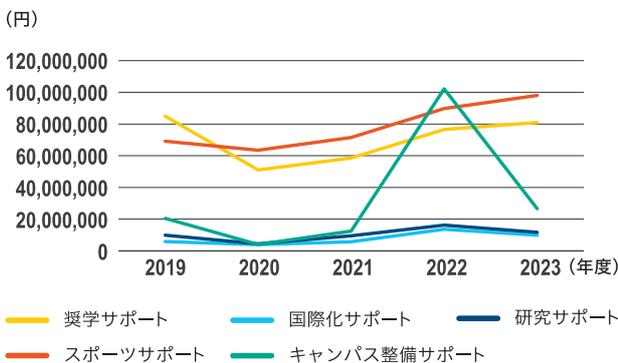
未来サポーター募金受付・実績

2023年度受付				
	個人	団体	法人	合計
件数	3,891	167	34	4,092
金額	¥189,318,550	¥17,469,629	¥20,231,124	¥227,019,303

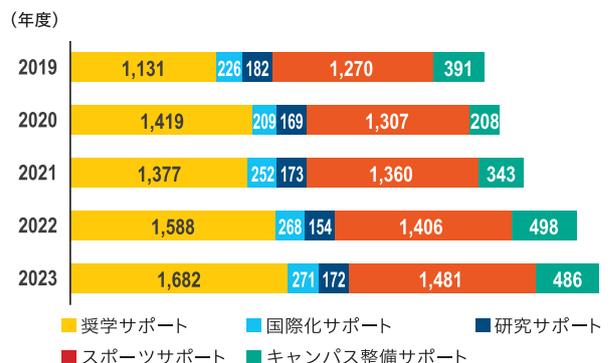
資金別受付		
	件数	金額
奨学サポート資金	1,682	80,897,681
国際化サポート資金	271	9,814,243
研究サポート資金	172	11,656,500
スポーツサポート資金	1,481	98,052,255
キャンパス整備サポート資金	486	26,598,624
合計	4,092	227,019,303



資金別受付金額年度別推移



資金別受付件数年度別推移



2023年度 未来サポーター募金 各資金別活用状況報告

Support 1 奨学サポート資金 一人でも多くの学生が安心して学業に取り組めるように

● 入学前予約採用型奨学金「おゝ明治奨学金」で活用します。

おゝ明治奨学金は、本学に入学を希望しながらも、経済的不安により入学をためらっている受験生のために創設した奨学金です。入学手続き費用から授業料年額1/2を減免し、その後は毎年、授業料年額1/2を給付することで、入学から卒業までの学生生活をサポートします。

今後も適切な資金計画のもとに、学生にとって有益な奨学金事業を推進してまいります。



◆ 本奨学金受給学生からのメッセージ「感謝のことば」

★奨学生を一部抜粋してご紹介いたします。

奨学金のおかげで、明治大学に通い勉強することができています。講義を聞いたり、友人や教授と話したりするなかで、日々新たな知識に出会い、これまでの生活では触れる機会もなかった様々な学問の道が広く目の前に開かれているのだということを実感しています。学ぶということがこんなにも楽しいことなのだ気づくことができました。本当に感謝しています。私は将来、自分が感じてきた貧富、地方と都市の教育格差を是正できるような職に就きたいと考えています。私が奨学金によって支援していただいているが故に、今こうして新たな知識や人と出会い学んでいるように、多くの人が環境に左右されず自分の学びたいことを追求できる社会を作るために毎日の生活や勉学に努めたいです。



Support 2 国際化サポート資金 明治から世界へ。世界から明治へ。

次の5つの国際化プログラムで資金を活用しました。

- 1 国連ユースボランティア学生派遣費**
学生1人を国連ユースボランティアとして、ネパールUNCDF（国連資本開発基金）に派遣する費用を負担しました。
- 2 グローバルシナジー・プロジェクト海外留学奨励金**
国際連携本部が主催するプログラムへの参加者6人に対し、奨励金を支給しました。
- 3 国際化サポート海外留学奨励金**
実渡航又はオンラインの留学プログラムを受講した学生計277人に対し、奨励金を支給しました。
- 4 国際化サポート外国人留学生奨励金**
本学に在籍する外国人留学生の学習奨励を目的として、成績優秀な外国人留学生21人に対し奨励金を支給しました。
- 5 アンバサダーラウンジ運営費**
日本人学生と留学生（主にマレーシアからの留学生）との交流促進、留学生の生活指導、就職支援等を図るため、交流会「アンバサダーラウンジ」を開催しました。



©WFP Nepal

スペイン・バルセロナ自治大学語学研修に参加した学生の報告書を一部抜粋してご紹介いたします。

私は今回の研修が初の海外渡航経験でした。研修自体に参加するかもとても悩んでいて、1次募集の時は申し込みず、2次募集の時によやく決心して申し込みました。参加した理由は、大学の第二言語でスペイン語を2年間履修し、大学の履修科目の中でも一番頑張っていたので、それを活かす機会が欲しかったからです。また、海外渡航経験がなく英語も全然話したことがなかった自分にとっては、英語とスペイン語の両方を練習できる絶好の機会でもあったからです。プログラム参加前は、一か月という短い期間でどのくらい言語力が伸びるか心配でしたが、プログラム後半になるとある程度の会話はできるようになっていて、成長を実感できました。スペイン語しか話することがない空間に身を置いたことが、成長できた理由だと思います。スペインでは、第一言語がスペイン語で第二言語が英語というのが普通で、日本のように、英語を話すの方が優れていると考える風潮はなく、スペイン人はみんな自分の言語に誇りを持ち、堂々と話しているように感じました。ホストファミリーとの会話も基本スペイン語で、もしわからないところがあった場合に、それを説明する補助言語として英語を用いていました。毎晩、夜ご飯を食べる時は、ホストファミリーと卓を囲んで食事をして、今日の出来事や日本の話をしていたため、その時間でもスピーキング能力が確実に向上したと実感しています。

バルセロナはカタルーニャ州に属しているため、駅名やバス停の名前、その他建造物名がカタルーニャ語であることが多く、とても印象的でした。街並みも綺麗で、気温も暖かくとても過ごしやすかったです。気温が暖かく湿度もあまりなく過ごしやすい環境であるため、バルセロナの人々は優しく、明るく、自分に余裕があるという印象を持ちました。とにかく過ごしやすいです！！

政治経済学部2年（当時）



https://www.meiji.ac.jp/cip/report/report_short.html

国際化サポート海外留学奨励金の支援を受け、留学に挑戦した学生の声を紹介しております。

Support 3 研究サポート資金 最先端の研究を「明治」から

研究・知財戦略機構は、学長を機構長とし、本学の世界的水準の研究を推進するため、重点領域を定めて研究拠点の育成を図り、研究の国際化を推進するとともに、その研究成果を広く社会に還元することを目的としています。皆様からご支援いただいた研究サポート資金は、特別推進研究インスティテュート等の研究拠点の整備、若手研究者の研究環境の整備等で活用しています。今後は、本機構の体制を強化して、戦略的に研究を推進するとともに、研究活動のさらなる活性化に資する新たな施策等で、研究サポート資金の有効活用を図ってまいります。

明治大学における『研究』の取り組みを紹介 ～皆様からのご支援が“明治大学の特色ある研究”を支えています～



研究とあなたの世界をつなげるWEBメディア



SDGs達成に向けた明治大学の取り組みを紹介



Support 4 スポーツサポート資金 トップアスリートの育成を目指して

次の24部および体育会全般で資金を活用しました。

部名	活用内容
端艇部	艇購入費
柔道部	選手7名の奨学金
剣道部	試合用竹刀袋の購入費、試合用胴の購入費
競走部	管理栄養士の業務委託費
水泳部	マッサージベッド購入費
馬術部	馬匹の購入費
射撃部	弾の購入費、エアライフル・スモールポアの弾購入費
ラグビー部	インカム（無線機）の購入費、選手2名の奨学金、テントカーテン購入費、トレーナー業務委託費
山岳部	海外登山(アニデッシュチュリ登山)費
スキー部	強化合宿の宿泊費、トレーニング用品購入費、大会・合宿宿泊費
自動車部	新規競技車両購入費、eスポーツ関連機材購入費、競技用タイヤ・整備工具等の購入費、通信費、交通費、競技車両の部品代、練習車両購入費
バレーボール部	練習に使用する補助台の購入費

部名	活用内容
卓球部	遠征費、用具購入費、オリンピック選考会の宿泊費、トレーナー帯同費
レスリング部	全日本大学選手権の宿泊費
アメリカンフットボール部	ポップアップダミー4本の購入費
ハンドボール部	夏季強化合宿費、練習時のテーピング類購入費
ヨット部	救助艇の購入費、セール購入費
ソフトテニス部	全日本大学ソフトテニス王座決定戦の宿泊費
ゴルフ部	遠征ラウンド費、合宿宿泊費
少林寺拳法部	夏季合宿費
アーチェリー部	練習時に使用するテントの購入費、練習用的紙購入費、タイマーの購入費
自転車部	ツールド北海道渡航費
明大スポーツ新聞部	合宿費
応援団	合宿時の送迎バス費
体育会全般	ヨット部救助艇の購入費への助成

■ 端艇部



船尾より全長は12m、重さは50kgほどあります。購入させていただいた艇を大切にし、努力してまいります。

■ 競走部



管理栄養士による寮食の改善や栄養講習により、選手にも食事の大切さが浸透してきました。

■ 射撃部



弾代のみで年間数百万という金額になります。支援金のおかげで全日本学生男女総合団体2連覇を成し遂げました。

■ スキー部



スキーエルゴ購入により、東京でも冬のスキーの感覚に近い、よりハードで質の高い練習が行えるようになりました。

■ 柔道部



全日本学生体重別選手権・講道館杯全日本柔道体重別選手権で優勝することができました。

■ 水泳部



練習後や大会のレース前後に整体トレーナーによるマッサージを受ける際、マッサージベッドが大変役立っています。

■ ラグビー部



今シーズンは「ONE MEIJI」のスローガンのもと、ファンの皆様に愛されるチームを目指してまいります。

■ 自動車部



競技用車外コンピュータ導入のジムカーナ試合用インテグラの強化の他、新しい競技車・パーツを購入しました。

■ 剣道部



皆様方に目に見える結果、日本一達成をご報告できるよう精進してまいります。

■ 馬術部



購入させていただいた馬は海外での競技実績のある有望な馬です。競技会での活躍を期待しています。

■ 山岳部



このたびの山岳部創部100周年記念事業海外登山を通じて、参加メンバー達の取組姿勢が一層積極的になりました。

■ バレーボール部



補助台の購入により、実際の試合に近いシチュエーションで練習をすることができ、練習の効率も上がりました。

* 体育会各部の成績・大会スケジュールは、「明大スポーツ新聞部」及び「MEIJI NOW」でご覧いただけます。

■ 卓球部



学生の強化に役立てられたおかげで、戸上隼輔が見事2024パリオリンピックの代表権を獲得することができました。

■ レスリング部



試合会場に近いホテルで宿泊できたことで、減量・試合日ごとの計量が伴う選手の体への負担を軽減できました。

■ アメリカンフットボール部



ディフェンスラインがパート練習時に利用するダミーを購入し、ファンダメンタル向上に努めています。

■ ハンドボール部



各大会で目標としていた優勝には届きませんでしたが、夏合宿の成果を十分発揮することができました。

■ ヨット部



レスキュー艇、セール共に大切に使用し、結果という形で皆様に恩返しができるよう練習に励んでまいります。

■ ソフトテニス部



関東学生春季リーグ戦、全日本大学王座決定戦、全日本大学選手権大学対抗（インカレ）で優勝できました。

■ ゴルフ部



より良い環境で活動続けることができ、関東Aブロック対抗戦で男女共に3位入賞することができました。

■ 少林寺拳法部



部員数の減少に伴い部費や強化費だけでは捻出が難しかった合宿参加費を賄う事ができました。

■ アーチェリー部



各種練習用品の購入により、悪天候時の練習や他大学を招いての練習試合を行うことができ、練習効率が向上しました。

■ 自転車部



大会自体は重大なアクシデントにより中止となってしまいましたが、限られた時間の中でも貴重な体験ができました。

■ 明大スポーツ新聞部



OBの記者に講演をいただいたり、校閲力向上テスト、撮影練習などで有意義な夏合宿を実施できました。

■ 応援団



9泊10日の夏季合宿の往復バス代、及び合宿期間中の成果発表会の際の移動用バス代として活用させて頂きました。

■ 体育会全般

ヨット部員の安全確保のため、ヨット部負担分と併せてレスキュー艇を購入させていただきました。



Support 5 キャンパス整備サポート資金 学びの場のさらなる充実のため

長期ビジョン「MEIJI VISION 150-前へ-」を具現化するために、具体的なプランや目標値を設定した「第3期中期計画」および2023年度予算をもとに各キャンパスの施設整備工事に一部充当いたしました。

キャンパス整備サポート資金を活用することにより、快適で安全な教育・研究活動環境の提供に繋がっています。

なお、未充当のものについては、引き続き「第3期中期計画」等によって計画・実施されるキャンパス整備事業のために積み立てさせていただきます。

<施設整備工事内訳>

- 1 和泉メディア棟空調設備更新工事（I期）
- 2 生田東グラウンド東側フェンス更新工事



和泉メディア棟



生田東グラウンド

Supporter's Voice

寄付者の皆さまより温かい応援メッセージをいただいております。
その中から一部ご紹介させていただきます。皆様からいただくお声は活動の励みとなっております。

卒業後 40 年過ぎてから、一層懐かしく思い出すようになりました。経済的に恵まれなかった自身の学生生活を思い出すと、少しずつですが恩返しをしたいと思っています。

自分が学生時代に留学を実行しなかった事に少し後悔しております。現役の明大生の 1 人でも多くの学生が留学を実行に移して欲しいです。その一助になれば幸いです。

いつも楽しませていただき元気にさせていただいている後輩の皆様に、ほんの少しですがお返しをしたい気持ちです。

「この研究をしている明大で学びたい」と言われるような成果をアピールできるよう期待しています。

厳しい環境の中で積み重ねてきた力を解き放ち、彩り豊かな学生生活と競技生活を満喫してください。応援します。

卒業して 30 年が経過しました。和泉校舎も、駿河台校舎も、随分と様変わりしましたが、母校がいつもそこにあるというのは嬉しいものです。これからも頑張れ明治！

社会人としてキャリアを重ねるごとに、母校の繋がり、暖かさを感じます。これからも母校からたくさんの学生さんが羽ばたいていきますように、心から祈っております。

未来サポーター募金 お申し込み方法のご案内

未来サポーター募金は、明治大学が重点的に取り組むテーマの中から、寄付者の皆さまが寄付金の使い道を指定できる寄付制度です。

指定可能な使い道は、「奨学」「国際化」「研究」「スポーツ」「キャンパス整備」「課外活動」の6つです。

より一層の成長・充実を望む分野を指定してご寄付くださることで、皆さまからの明治大学を応援する思いを直接届けることができます。

明治大学のさらなる飛躍と発展のために、皆さまからのご支援とご協力をお願いいたします。

- 募金期間 4月1日～翌年3月31日（毎年度）
- 受付金額 一口1万円 一口以上何口でも結構です。
また、一口1万円未満でもありがたくお受けします。

●税制上の優遇措置

明治大学への寄付は「所得税控除」及び「住民税控除（居住地によります）」を確定申告により受けることができます。（寄付額の40%～50%相当額の税負担軽減）

▼お申し込み方法

1 専用払込取扱票によるお申し込み

2 口座振替によるお申し込み

一度お申込みいただくと、継続的に金融機関口座から自動引き落としが可能です。「預金口座振替依頼書【指定寄付金申込書】」はHPよりダウンロードいただけます。

3 インターネットからのお申し込み

クレジットカード、インターネットバンキング、コンビニ決済が利用可能です。

税制上の優遇措置（個人）

本学への寄付金は、税制上の優遇措置を受けられます。

1 所得税について

税額控除または所得控除のいずれかの制度を選択し、優遇措置を受けることができます。

A. 税額控除

寄付金額*1から2,000円を差し引いた額の40%に相当する額が、当該年の所得税額から控除されます。
(寄付金額*1-2,000円)×40%=所得税控除額*2

B. 所得控除

寄付金額*1から2,000円を差し引いた額が、当該年の所得から控除されます。所得金額に対して寄付金額が大きい場合には減税効果が大きくなります。

*1 その年の総所得金額等の40%が上限 *2 その年の所得税額の25%が上限

2 個人住民税について

お住まいの自治体によっては、確定申告の際に合わせて申告することにより、個人住民税の寄付金控除を受けることができます。詳細につきましては、お住まいの都道府県、市区町村にご確認ください。



「所得税の寄付金控除の目安」等
詳細はこちらをご参照ください。



寄付者顕彰制度（個人）

寄付の総累計額を基準として適用となる顕彰制度です。皆さまからの寄付金は、教育研究の発展のため、有効に活用させていただきます。

◆ 名誉称号のご案内

累計寄付金額に応じて、名誉称号を贈呈します。

寄付の累計額	名誉称号の種類
5億円以上	栄誉紫紺賛助員（えいよしこん）
1億円以上	特別紫紺賛助員（とくべつしこん）
5000万円以上	光輝紫紺賛助員（こうきしこん）
3000万円以上	精華紫紺賛助員（せいかしこん）

寄付の累計額	名誉称号の種類
1000万円以上	紫紺賛助員（しこん）
500万円以上	暁鐘賛助員（あけのかね）
100万円以上	白雲賛助員（しらくも）

◆ 各種礼遇のご案内

- 1 学内諸行事へのご招待（ご招待する行事は、称号により異なります）
- 2 学内施設のご利用（称号により異なります）
- 3 学内刊行物の贈呈（「明治大学広報」）
- 4 寄付者総合銘板*への芳名掲載（紫紺賛助員以上）

*駿河台キャンパス・リバティタワー 23階



明治大学 大学支援事務室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 大学会館 3階
TEL : 03-3296-4057・4059 E-mail : bokin@mics.meiji.ac.jp